



平成27年7月の住宅着工の動向について

平成27年7月の住宅着工戸数は78,263戸で、前年同月比で7.4%増となった。また、季節調整済年率換算値では91.4万戸(前月比11.5%減)となった。利用関係別にみると、実数値では、前年同月比で持家、貸家で増、分譲住宅で減となった。季節調整値については、前月比で持家、貸家、分譲住宅ともに減となった。

住宅着工の動向については、このところ前年同月比で5か月連続の増加となっており、昨年4月の消費税率引上げに伴う駆け込み需要の反動の影響が薄れ、持ち直しているとみている。反動減の影響が大きかった持家は、前年同月比で3か月連続の増加となった。今般の経済対策等の効果が住宅着工に表れていると思われる。引き続き、今後の動向をしっかりと注視していく必要がある。

持家は前年同月比では3か月連続の増加(前年同月比8.0%増、季節調整値の前月比では6.0%減)。貸家は前年同月比では3か月連続の増加(前年同月比18.7%増、季節調整値の前月比では2.0%減)。分譲住宅は前年同月比では4か月ぶりの減少(前年同月比9.0%減、季節調整値の前月比では31.7%減)。分譲マンションは前年同月比では4か月ぶりの減少(前年同月比17.6%減)。分譲一戸建住宅は前年同月比では15か月連続の減少(前年同月比2.7%減)。府県別は大阪4358戸(前年同月比4.0%↑)、兵庫2450戸(18.5%↑)、岡山1072戸(30.7%↑)広島1196戸(0.7%↓)である。

情報提供: 国土交通省

パナソニック、システムキッチンに溶け込む新デザインビルトイン食器洗い乾燥機 K シリーズを発売



パナソニック株式会社 エコソリューションズ社は、食器洗い乾燥機の前面の排気口を無くし、システムキッチンと調和したフルインテグレートタイプのビルトイン食器洗い乾燥機 K シリーズ 2機種を、2015年12月1日より発売します。合わせて、進化した「エコナビ」などを搭載した M・V シリーズ 6機種も同時発売します。尚、本製品は12月のパナソニックキッチンより搭載を予定しています。

今回発売する製品は、デザインがキッチンと一体化する際に最大の課題であった排気口の構造を一から見直し、排気口を正面から無くし、上面操作部に変更してフルインテグレート化を実現。

当社製従来機種は、乾燥時に出る高温約70℃の蒸気を約45℃まで温度を下げて放出していましたが、ツインファン&エアミキシング方式採用により約35℃の低温・低湿排気を実現しました。また、室温センサーの新搭載により、エコナビがさらに進化。節水・省エネを自動的に最適化し、最大約12%節電、節水約17%を実現。それにより、キッチンの意匠性はもちろん高温排気を無くすことで、さらにキッチンでの作業性が向上します。

情報提供: パナソニックエコソリューションズ社

「2014年度戸建注文住宅の顧客実態調査」報告

一般社団法人住宅生産団体連合会(会長 和田 勇 積水ハウス株式会社代表取締役会長)ではこの程『2014年度戸建注文住宅の顧客実態調査』を報告書として取りまとめましたので公表いたします。

この調査は、戸建注文住宅を建築した顧客の実態を明らかにすることにより、今後の戸建注文住宅の顧客ニーズの変化を把握し、これからの社会にふさわしい住宅の供給の有り方を探ることを目的として2000年から開始し、今回で15回目となります。調査の対象エリアは、3大都市圏(東京圏、名古屋圏、大阪圏)と地方都市圏(札幌市、仙台市、広島市、福岡市、静岡市)です。有効回答数は4,345件でした。

戸建注文住宅の平均顧客像の要約

- ・世帯主年齢の平均は、今年度は平均42.0歳と、昨年度より0.3歳下がった
- ・世帯年収は851万円で、昨年度より8万円増加した。
- ・住宅の延床面積は、昨年度より2㎡減少し129㎡となった。
- ・建築費は3,310万円で66万円増加し、住宅取得費合計は4,554万円で、昨年度より186万円増加した。
- ・自己資金は1,480万円で、109万円減少した。贈与額も1,054万円で、67万円減少した。
- ・一方、借入金は3,540万円で、昨年度より247万円増加し、借入金年収倍率は4.16倍と昨年度を上回った。
- ・世帯年収が増えたものの、建築費の高騰で住宅取得費も増加しており、そのため主に借入金を増やすことで対処しており、さらに住宅の規模を縮小して調整している状況が読み取れる。

情報提供: 住宅生産団体連合会